

2021 年度事業計画 案

自：2021 年 4 月 1 日

至：2022 年 3 月 31 日

1. 研究助成事業

保健・医療の受け手の観点から、国内において最適な保健医療・福祉のシステムに資するヘルスリサーチ領域の共同研究に対し助成研究を公募する。今期で第 30 回目となる。

助成対象期間： 原則として 1 年間

(2021 年 12 月 1 日～2022 年 11 月 30 日)

公募方法： 財団ホームページ、大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)、医療経済研究機構レター、ヘルスリサーチニュース(4月号)に公募記事を掲載するとともに、大学、研究機関、学会、都道府県医師会/歯科医師会/薬剤師会/看護協会、都道府県・政令指定都市保健所長会等にチラシを配布する。

助成規模： 5,620 万円

1) 国際共同研究助成

助成金額： 1 件 300 万円以内

助成件数： 8 件程度 (計 2,400 万円)

2) 国内共同研究助成 (年齢制限なし)

助成金額： 1 件 130 万円以内

助成件数： 14 件程度 (計 1,820 万円)

3) 国内共同研究 (2020 年 4 月 1 日現在、満 39 歳以下)

助成金額： 1 件 100 万円以内

助成件数： 14 件程度 (計 1,400 万円)

【参考】2020 年度実績 <応募状況並びに採択結果>

() 前年度 金額：万円

| | <u>応募件数</u> | <u>採択件数</u> | <u>助成金額</u> | |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 国際共同研究 | 16 (46) | 7 (11) | 2,015 | (2,933) |
| 国内共同研究 (年齢制限なし) | 39 (68) | 14 (15) | 1,700 | (1,732) |
| 国内共同研究 (満 39 歳以下) | 20 (32) | 6 (12) | 585 | (1,098) |
| 合 計 | 75 (146) | 27 (38) | 4,300 | (5,763) |

2. 第 28 回ヘルスリサーチフォーラム・研究助成金贈呈式実施及び講演録発行事業

ヘルスリサーチフォーラムと 2021 年度研究助成金贈呈式を併催する。

ヘルスリサーチフォーラムでは、2019 年度に助成した国際共同研究及び国内共同研究全 37 題の研究成果発表及び、2021 年度に公募する一般演題の研究発表を行うとともに、2021 年度の助成受賞者の贈呈式を行う。なお、昨年度と同様のオンライン形式か従来通り会場形式にて実施するのか、開催形式については新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、選考委員会にて改めて判断する。

今般の新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、2020 年度のフォーラムは全プログラムをオンラインにて実施することとした。その結果、従来 3 セッションを同時に行っていたポスターセッションを全てスライド発表としたため、従来の 3 倍の時間を要した。また、研究助成金贈呈式も、従来の式典形式が実施できないため、受賞者全員に助成研究の発表を行ってもらうこととしたため、2 日間のプログラムとして実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響に拠るものと考えられるが、今年は一般演題の応募がなかった。

フォーラムをすべてオンライン形式にて開催したことにより、発表者と質問者とのディスカッションの臨場感は薄れたようだとのご意見が多く寄せられた。一方、遠隔地に居住する研究者の方にとっては、旅費交通費と時間負担が大幅に軽減されることになり、より多くの研究者に興味ある研究テーマに気軽にアクセスしていただけるようになった面もある。

なお、本年度のヘルスリサーチフォーラムの内容は講演録として纏め、2021 年 5 月に配布予定である。

- テーマ： 「パンデミックのヘルスリサーチ」
- 開催日： 2021 年 12 月 11 日（土）及び 12 日（日）（開催期間は TBD）
- 会場： 千代田放送会館またはファイザー株式会社 18 階会議室（TBD）
- 後援： 厚生労働省（予定）
- 協賛： 医療経済研究機構（予定）
- 参加者： 財団役員、選考委員、関係官庁、報道関係者、共同研究発表者、助成受賞者、出捐会社役員、LSF 懇談会メンバー等 120 名（会場開催の場合）、100 名（オンラインの場合）
- 講演録： A4 版 200 頁 750 部

3. ヘルスリサーチワークショップについて

2021 年 1 月に開催予定であった第 17 回ヘルスリサーチワークショップについては、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、その開催を見合わせることにした。

本事業は、将来のヘルスリサーチ研究者・実践者の戦略的な育成の一環として、ヘルスリサーチを志向する研究者・実践者の人的交流と相互研鑽の場を提供し、ヘルスリサーチ研究の振興を図ることを目的するものである。

2021 年度においては、2022 年の財団 30 周年を契機とした新たな「ヘルスリサーチワークショップ」の開催を目指し、これまでの「ヘルスリサーチワークショップ」を振り返り、公益目的事業としての当事業のあり方（参加機会が開かれているか、開催方法は適当か等々）について所要の検討を行うこととする。

4. 財団機関誌（ヘルスリサーチニュース）発行事業

財団の事業及びその成果を情報として提供し、研究の推進、啓発を図る。また、ヘルスリサーチの啓発と実践的な展開も併せて目指し、年2回（4月/10月発行）機関誌の発行を行う。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を鑑み、配布物の作業については、削減していく方向である。

配 付：年2回 A4 20～24頁 8,800部

配付及び方法：財団関係者、全国の医学部、薬学部、看護学部、法学部等、
医療機関、各医師会/歯科医師会/薬剤師会/看護協会、保健所長会、
報道機関等へ郵送

5. 財団30周年記念事業

2022年に実施予定の財団30周年記念事業の企画・立案を行う。